

質疑及び一般質問

令和4年11月29日、30日、12月2日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

11月29日(火)



◎高校教育におけるIT人材の育成について

自由民主党 今泉 健司 (みどり市)

Q 「日本最先端クラスのデジタル県」を目指す本県では、高校教育におけるIT人材の育成が急務と考えますが、県教育委員会の取組の現状と課題、今後の予定について伺います。

A IT人材の育成は喫緊の課題であると認識しています。各学校では、1人1台パソコンやオンライン学習支援ソフトウェア等を活用したプログラミング等の教育活動に取り組んでいます。今後も教員研修の更なる充実を図るとともに、小中高のプログラミング教育の体系化等について検討し、高度情報社会に対応した教育の充実に努めてまいります。



◎特別な支援を必要とする児童生徒への対応について

リベラル群馬 加賀谷 富士子 (伊勢崎市)

Q 医療的ケア等の特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあることから、市町村立学校に対する県の支援が重要と考えますがいかがでしょうか。

A 県教育委員会では、国に対し、看護師や特別支援教育支援員の配置にかかる経費の補助等の拡充を要望しています。また、医療的ケアを実施する市町村教育委員会に対し、研修等に関する情報提供や助言等を行っているほか、専門の相談員やアドバイザーによる学校への相談・支援に努めています。今後も引き続き、サポートの充実に努めてまいります。



◎医療的ケア児の支援に関する知事の思いについて

自由民主党 松本 基志 (高崎市)

Q 医療的ケア児支援センターの設置を含め、医療的ケア児とその家族の支援充実に向けた知事の思いを伺います。

A 医療的ケア児とその家族の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、保健や医療、福祉、教育、労働などの幅広い分野が、密接に連携しながら、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うことが重要であると認識しています。「医療的ケア児支援センター」は、その役割を担うために必要な機関であり、是非とも責任を持って設置したいと考えています。



◎中高生の自転車事故対策について

令明 金沢 充隆 (藤岡市・多野郡)

Q 中高生の自転車事故防止に向けた知事の考えについて伺います。

A 群馬県は、高校生の通学時1万人当たり自転車事故件数が8年連続全国ワースト1位であり、非常に危機感を持っています。これまで、中高生のヘルメット着用に向けた啓発活動とともに、群馬県交通安全条例を改正し、自転車ヘルメット着用を努力義務化するなどの取組を行ってきました。

今後は、事故対策に新たな視点を取り入れるとともに、MaaS(マース)を活用した通学手段を選択できる社会を目指すなど、事故防止に向けて、更なる取組を進めてまいります。



ヘルメットを着用して通学する高校生

11月30日(水)



◎群馬の誇るべき歴史と文化の継承について

自由民主党 岸 善一郎 (高崎市)

Q 本県が誇る歴史と文化を、貴重な県民共有の財産として後世に引き継ぐため、その価値を知る機会が必要と考えますがいかがでしょうか。

A 本県には全国に誇るべき歴史と文化が数多く存在しています。「上野国分寺まつり」に参加した際には、上野国分寺が地元住民に大切にされていることを感じました。県民が郷土への誇りや愛着を持つことは重要であり、次代へ引き継がれるような様々な施策に取り組んでまいります。「ぐんま文化遺産の日」創設のご提案は、頭の片隅に置いておきます。



上野国分寺まつりの様子



◎男女の賃金格差解消に向けた取組について

日本共産党 酒井 宏明 (前橋市)

Q 労働者の賃金を底上げしていくことはもちろんですが、特に非正規雇用で働く女性の処遇改善に関して、県においても独自の取組をすべきと考えますが、いかがでしょうか。

A 男女の賃金格差を解消するためには、賃金の引き上げなどの直接的な働きかけだけではなく、正規雇用者として女性が働きやすい環境の整備が重要です。特に中小企業においては、人材育成や生産性の向上への取組支援を行うことで、賃金の底上げや働き方改革に繋げていくことが大切です。今後も働く女性の処遇改善を進めてまいります。



◎東毛ワクチン接種センターの成果と今後のオミクロン株対応ワクチン接種の進め方について

自由民主党 泉沢 信哉 (館林市)

Q 東毛ワクチン接種センターの成果について及び、今後のオミクロン株対応ワクチン接種をどのように進めていくのか伺います。

A 東毛ワクチン接種センターでは、累計で27万7千回を超える接種を行い、地域のワクチン接種に貢献しました。今後のオミクロン株対応ワクチン接種については、関係機関と連携し、市町村の接種体制を更に強化します。また、県内全域の県民が接種可能な接種加速センターを東毛地域の医療機関を中心に設置することや、商業施設等へのワクチンバスの派遣などを予定しています。



◎子ども医療費助成制度の拡大について

自由民主党 斉藤 優 (伊勢崎市)

Q 高校生世代までの医療費無料化について、知事の考えを伺います。

A 本県の子ども医療費助成制度は、中学校卒業までを対象とし、所得制限や自己負担がないなど、全国的にトップクラスの手厚い制度を実現しています。高校生世代まで対象を広げた場合には、更に多くの予算を毎年継続して確保していく必要があります。県政には、取り組むべき重要な課題も山積しており、高校生世代までの医療費無料化の実施については容易ではありませんが、要望を真剣に受け止め、今後よく検討してまいります。

12月2日(金)



◎今後のMaaS(マース)の見通しについて

自由民主党 高井 俊一郎 (高崎市)

Q 今年度は、前橋市で実装するということが重要と考えますが、県内全域へ広めていくことが重要と考えます。MaaSの今後の見通しについて伺います。

A MaaSの取組については、来年度以降、都市部では、前橋市での取組をベースにサービスを高度化させるとともに、山間地や観光地などでは、それぞれの地域の課題解決に向けたカスタマイズを行いながら、県内全域に展開してまいります。自家用車への過度な依存から公共交通への転換を促すことで、誰もが多様な移動手段を選択できる社会の実現を目指します。



◎本県への移住・定住促進について

リベラル群馬 八木田 恭之 (太田市)

Q 本県の移住促進の取組及びそれに対する知事の考えについて伺います。

A 都心までのアクセスの良さ、豊かな自然や温泉など、群馬県の持つ魅力や強みが評価され、都内の働き盛りの方々が本県への関心を高めています。テレワーカーや企業を対象に「転職なき移住」などを推進するための施策を展開し、ワーケーションマッチング相談会やオンラインセミナーなどを積極的に開催しています。今後も、本県の魅力や強みをPRしていくとともに、市町村とも連携し、オール群馬で、より多くの人を本県に呼び込んでまいります。



◎県立女子大の施設整備について

自由民主党 井田 泉 (佐波郡)

Q 学生がより快適に学べるように、建設から40年経過した女子大学の整備が必要と考えますが、現在の状況と今後の方向性について伺います。

A 現在の校舎等の施設設備は、全体的に老朽化が進んでいます。現在、トイレなど優先順位の高い個所から順次改修を進めています。魅力ある大学として運営するには、教育内容の質の面はもとより、快適な学修設備や環境が不可欠です。今後も、適切かつ計画的に整備を進められるよう、大学側と緊密に連携し、しっかりと対応を検討してまいります。



県立女子大学



◎温泉文化のユネスコ無形文化遺産の登録への今後の展望について

自由民主党 星野 寛 (利根郡)

Q 今後の登録に向けてどのように取り組んでいくのか伺います。

A 登録に向けては多くの課題があり、決して簡単なことではありません。今後の取組として、①温泉地全体が共感するストーリーや保護措置を検討する有識者会議の設置、②知事の会から関係省庁への政策要望の実施、③「全国推進協議会」の設立への働きかけの3点を考えています。日本固有の文化「ONSEN」が、ぜひ、世界共通語となるように世界に発信していき、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への登録の早期実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

積極的な委員会活動を行っています

県議会に設置されている委員会は、担当する所管事項について、審議の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。

今回は、特別委員会による県外調査の主な状況を紹介します。

子育て・障害者支援に関する特別委員会

委員長：橋爪洋介、副委員長：亀山貴史
委員：伊藤祐司、小川晶、大和勲、泉沢信哉、大林裕子、高井俊一郎、金沢充隆、鈴木敦子
★令和4年9月6日（火）～9月8日（木）

①認定特定非営利活動法人SOS子どもの村 JAPAN（福岡県福岡市）

里親養育の先進国イギリスで開発された研修プログラム「フォスタリングチェンジプログラム」の研修会を継続的に実施している当団体の状況等について調査を行いました。

②熊本県医療的ケア児支援センター（熊本県熊本市）

本県では、医療的ケア児支援センターの早期開設と医療的ケア児及び家族の支援の充実を目指しており、その先進事例として調査を行いました。

③特定非営利活動法人それいゆ（佐賀県佐賀市）

発達障害児・者に関する相談及び療育機能等を併せ持つ当団体の幅広い取組について調査を行いました。

④佐賀県立宇宙科学館ゆめぎんが「ジャクサガスクール」（佐賀県武雄市）

宇宙を切り口とした教育プログラムを通じて、子どもたちの夢や志を育むことを目的に実施している事業について、本県の教育施策の参考とするため調査を行いました。



佐賀県立宇宙科学館ゆめぎんがで説明を受ける様子

環境・エネルギー対策特別委員会

委員長：久保田順一郎、副委員長：牛木義
委員：井田泉、萩原渉、金井康夫、金子渡、森昌彦、八木田恭之、入内島道隆、追川徳信
★令和4年9月6日（火）～9月8日（木）

①鳥海山木のおもちゃ美術館（秋田県由利本荘市）

国登録有形文化財にも指定されている、廃校となった小学校の建物を活用した同美術館について、木材利用の普及啓発や需要拡大、木育を推進するための取組等の調査を行いました。

②秋田臨海処理センター（秋田県秋田市）

脱炭素先行地域に選定されている同センターでの取組について、本県の脱炭素への取組加速化の参考とするため調査を行いました。

③株式会社シェルター 高惣木工ビル（宮城県仙台市）

安全性の高い耐震技術や優れた耐火性能技術により建築された木造7階建ての高惣木工ビルについて、県産木材の活用、普及拡大、再生可能エネルギーの導入等に関する調査を行いました。



高惣木工ビルで木質耐火部材の説明を受ける様子

④福島水素エネルギー研究フィールド（福島県浪江町）

太陽光発電を利用した世界最大級の水素製造装置を備えている同施設の、水素社会の実現を目指す取組について調査を行いました。

⑤EVバッテリー・ステーション浪江（福島県浪江町）

電気自動車（EV）から回収したリユースバッテリーの再利用施設における、大規模な蓄電技術と太陽光発電を組み合わせた再生可能エネルギーの地産地消の取組について調査を行いました。

地域活性化・魅力発信に関する特別委員会

委員長：星野寛、副委員長：神田和生
委員：水野俊雄、あべともよ、岸善一郎、酒井宏明、安孫子哲、伊藤清、斉藤優
★令和4年8月31日（水）～9月2日（金）

①鹿児島県黒豚生産者協議会（鹿児島県鹿児島市）

「かごしま黒豚」として全国的なブランドを確立している鹿児島県において、養豚経営の安定と養豚振興に寄与している同協議会の概要及び取組内容について調査を行いました。

②屋久島町役場（鹿児島県屋久島町）

世界自然遺産に登録された豊かな自然環境を生かした観光振興や、エコツーリズムの取組等について、本県の自然環境を生かした観光振興の観点から調査を行いました。

③白谷雲水峡（鹿児島県屋久島町）

本県の観光資源のひとつである自然を生かしたアクティビティ推進の観点から、屋久島のアクティビティについて調査を行いました。

④屋久島世界遺産センター（鹿児島県屋久島町）

県立公園等の保全及び活用の観点から、同センターの概要及び取組について調査を行いました。



屋久島世界遺産センターで説明を受ける様子

そのほか、常任委員会や特別委員会での調査の状況は、県議会ホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。

委員会の活動状況はこちら



若者の政治への関心を高める取組

ガチかける

GACHi高校生×県議会議員 ～政治を知らなきゃソンをする！～を開催

11月14日、今泉健司、後藤克己両議員が県立しらがね特別支援学校（前橋市）を訪問し、高等部の生徒20人と意見交換を行いました。

議員が、政治や選挙の仕組みについてクイズを交えて分かりやすく解説した後、「議員になった理由は」や、「公共交通機関の本数が少ない。どうすれば増やせるか」といった生徒からの質問に丁寧に答えました。

若い世代の政治への関心を高めることを目的に、平成29年（2017年）からスタートしたこの取組。今年度は、県内20校から申込みをいただきました。2月上旬にかけて順次実施していきます。



○×クイズに答える生徒



生徒からの質問に答える後藤議員

第3回前期定例会（決算審査）のあらまし

◇10月14日以降の前期定例会についてお知らせします。

決算特別委員会（10月12日設置）では、10月17日、18日に分科会ごとに現地調査や審査が行われました。また、10月26日には各分科会主査から報告を受けた後、総括質疑を行いました。10月31日の本会議では、決算特

別委員会の審査結果について委員長から報告が行われた後、討論と採決が行われ、**決算に関する6議案**は全て**可決・認定**されました。

第3回後期定例会のあらまし

◇第3回後期定例会は、11月24日から12月14日までの21日間にわたって開催されました。

【議案】

11月24日には、新型コロナウイルス感染症対策費や県有施設における電気料金等の高騰に伴う維持管理経費等、275億2,583万円を増額する一般会計補正予算案など**22議案**が提出されました。

また、11月30日には、「愛郷ぐんま全国割」を年明け以降も実施するための経費に係る25億4,604万円を増額する一般会計補正予算案など**3議案**が、12月14日には、人事案件**2議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、条例案2件、意見書案2件、決議案1件の計**5議案**が発議されました。

【質疑及び一般質問】

12人の議員による質疑及び一般質問のほか、追加提出議案について**2人の議員**が質疑を行いました。

【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査しました。

【議決】

採決は、11月30日、12月14日に行われました。知事から提出された議案は、全て**可決・同意**されました。委員会から発議された**5議案**は、いずれも**可決**されました。また、**21件の請願**が採択（趣旨採択を含む）されました。

請願・陳情の手引きはこちら



◇可決された主な議案

- 令和4年度群馬県一般会計補正予算（第4号・第4号【追加提案分】）
- 群馬県個人情報保護審議会条例
群馬県個人情報保護審議会を設置しようとするもの
- 群馬県議会の保有する個人情報の保護に関する条例（議会運営委員会発議）
個人情報保護法の改正に伴い、群馬県議会の保有する個人情報の保護に関する条例を新たに制定するもの

◇可決された意見書

- 交通安全施設整備に向けた財源確保等に関する意見書
- 少人数学級の拡充・教職員定数の改善を図るための、2023年度政府予算に係る意見書

◇可決された決議

- 小児医療センターの方向性について早期の結論を求める決議

トピックス Topics

◎ 全国都道府県議会議長会表彰状の伝達などが行われました

12月14日、在職20年以上の議員と15年以上の議員に対して、全国都道府県議会議長会表彰状の伝達が行われました。また、議会から顕彰状が授与され、知事から感謝状が贈呈されました。



受賞した議員

受賞者

（議員在職20年以上）

狩野 浩志 議員
橋爪 洋介 議員

（議員在職15年以上）

星名 建市 議員
伊藤 祐司 議員
井田 泉 議員
後藤 克己 議員
中島 篤 議員
萩原 渉 議員

◎ ショート動画「議員に聞いてみた！」の公開

若手議員が「若者の投票」に関連した質問に答える**ショート動画**を作成しました。**本編動画**「若者の投票率が低いとどうなる!？」も併せてご覧ください。



ショート動画

秋山議員バージョン



鈴木議員バージョン



本編動画



公職選挙法により、議員が選挙区内の人や団体に対し、年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く。）を出すことは禁止されています。

議会図書室について

一般の方もご利用いただけます。利用案内は右QRコードからご覧ください。



ぜひお聞きください!

エフエム群馬 新春特別番組「議長・副議長に聞く」

令和5年1月10日(火) 18:45~18:55

令和5年第1回定例会のご案内

会期は**2月15日から3月10日**までの予定です
テレビやインターネットによる中継をしています。
ぜひご覧ください。



◎本会議・委員会開催日程

©群馬県 ぐんまちゃん

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
2月15日	水	本会議 (開会・提案説明)	3月2日	木	常任委員会
21日	火	本会議 (党(会)派代表による 質疑及び一般質問)	3日	金	
22日	水	本会議 (質疑及び一般質問)	7日	火	特別委員会
27日	月		10日	金	本会議 (委員長報告・議決・閉会)
28日	火				

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。（開会はおおむね午前10時からです）

◎県議会中継

テレビ

★群馬テレビ 午前10時~〈生中継〉

◆本会議（質疑及び一般質問）をご覧ください。

インターネット

★県議会ホームページ「議会中継」〈生中継〉〈録画〉

◆本会議の全日程をご覧ください。

スマートフォンやタブレットはこちらからご覧ください



県議会では、**弔電**を自粛する申し合わせを行っています。

◎県議会だより電子書籍版はスマートフォン等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。



◎過去の県議会だよりははこちらをご覧ください。



県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています

県議会ホームページ

群馬県議会

検索



◎「県議会だより」は年4回発行しています。

次号は、令和5年4月2日(日)発行予定です。

◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。

☎ 027-897-2891 FAX 027-221-8201

✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp